

氏 名	取り上げるべきだと思う分野					取り組みたい課題
	環境・美化	文化・芸術	福祉	地域の繋がり	その他	
天野委員	○			○		1) 2期からの提言にあった「エコのまち麻生の推進」は、スタートしたばかりで、まだ形にはなっていません。これを継続・発展させていきたいと思います。 ・区役所ロビーでの生ごみリサイクル相談会や生ごみ堆肥による写真展 地産地消の取組など継続&発展 ・関連団体、関連機関との連携 ・レジ袋削減、ごみ減量、自然エネルギーや省エネなど 地球温暖化防止対策の新規取組 2) 地域交流部会の取組継続
植木委員				○	○ 生涯学習	●いろいろな麻生区の課題については4年をかけた1期・2期で当然、出尽くしているはず。3期では【その課題解決の担い手を何処に求めるか？】また【どのように育てるか？】を取り組みたい課題とします。 ついては、区役所の縦割り行政では解決できない問題、区民だけでは解決できない問題に対して区民会議は触媒的な役割を果たすべきと考えます。
魚本委員			○	○		○災害時の横の連携の為に地域のつながりをいかに構築するか 自主防災組織と災害時の障害者の2次避難所との連携 ○異世代間の交流 ・老人いこいの家がこども文化センターと合築されているが、双方の交流が難しいと聞いている。意識して協働できる仕組みを考えられないか。 ・中・高校と大学との連携・ボランティア等 ○市民利用施設、活動支援拠点施設の連携ネットワーク
大高委員	○		○	○	○ 防災、防犯	環境問題に興味があります。環境部会に所属し、「エコのまち麻生」をさらに推進してゆきたいと考えています。（個人的には、太陽熱温水器、風力発電機、非電化冷蔵庫などを製作してみたい…）
勝田委員	○		○	○		麻生区の最大の地域特性は、他区に比べて緑地が多く市の緑地面積の1/2は麻生区が占める。また、川崎市の市街化調整区域の95%は麻生区にあり農と緑は麻生区にとって如何に重要であるかがわかる。しかし、この貴重な緑地も手不足で手入れが行き届かない緑地も多く市民の力で保全管理することができないかと思う。そのために里山ボランティア制度を作って区民参加の協働により麻生区の緑地保全活動を進めるべくその基礎（基盤整備）となる組織づくりをしたいと思う。 これは当に、地権者・区民・行政と一緒に進める協働作業によってしかできないことである。

氏 名	取り上げるべきだと思う分野					取り組みたい課題
	環境・美化	文化・芸術	福祉	地域の繋がり	その他	
金光委員	○		○		○ 健康、安全	1) 環境：家庭からのCO2排出量減少を目的に家庭エコ活動の拡大展開を図る 2) 福祉：コミュニティで介護を下ささえ出来る社会環境の実現 3) 健康：高齢化の進展で益々健康維持が老後の幸せを保障する大切な関心事になってくる、老若男女が共に参加でき、健康維持杜スポーツを通じての仲間作り、コミュニケーションが出来る文部科学省が進める総合型地域スポーツクラブの設立推進を図る。 4) 安全：現在区内では自主防災組織が各自治体内に設立されており、一見防災に対する備えが完備されていると思えるが、緊急災害時における緊急医療体制が全く出来ていない、医薬品の備蓄、医薬品の緊急調達方法、医療機関の連携、看護体制、避難所における医療体制の不備、患者運送の手段、受け入れ病院との連携、等々 麻生区の事業計画書には具体的な記載がなされていない。
菅原委員	○	○	○	○		○区民参加の麻生区づくり ①文化芸術のまちづくりをめざしていることから第2期に一定の効果をあげ「今後も芸術祭を盛り上げる企画必要」と提言されていることから継続検討課題と思う ②2012年には区制30周年を迎える時こそできる「区民参加と地域づくり」について検討 ・区政30周年を記念して麻生区をイメージする「区民の木、区民の花」の決定にむけての取り組みについて検討 ・子育てしやすい環境づくり ・高齢者が安心して生活できる環境づくり ・大学生等との連携しての活動 ・子育て世代と高齢者との日常的な交流の場づくり ・区民参加の麻生区づくりの検討と展望など区民の声を聞くフォーラムの開催、まとめ小冊子等
竹市委員	○			○		巷に情報は氾濫の様相だが、必要とする人に求める情報が届いていない現実もある。区民が、欲している情報を容易に入手できる様にするため、区内に散在する多種多様な情報を整理し統合して、(仮称)「あさお情報センター」を設ける。ーまずは電子媒体で始めるー 1. 情報掲示板…イベント、セミナー・学習会、祭り、ボランティア募集等の情報を掲載 2. 活動支援情報…活動団体、活動の場所・施設、活動に必要な人材、活動に必要なお金等に関する情報の提供及び紹介、相談等 3. 情報ネットワークの促進
武濤委員		○		○		「しんゆり・芸術のまち」のイメージ強化 これまでの区民会議で、「川崎・しんゆり芸術祭」を中心としてさまざまな実践がなされてきたが、その実績をさらに広げ、深める活動（麻生区の地域コミュニティの特性を生かしたネットワークづくり、区内外への情報発信機能の強化など）を検討したい。

氏 名	取り上げるべきだと思う分野					取り組みたい課題
	環境・美化	文化・芸術	福祉	地域の繋がり	その他	
田中委員		○	○	○		1. 麻生区 自殺低減作戦 H. ○○年に、自殺率(自殺者数／人口10万人)9.9以下を実現 2. 働くおかあさん がんばって！作戦 ①H. ○○年に、待機児童ゼロを実現 ②H. ○○年に、多様なニーズにきめ細かくこたえる保育モデル施設を開設 ※別添資料あり
土井委員		○		○		(地域を良く理解していない状態で問題提起することをお許してください) 私の住む町は住民同士の人の繋がりや接点の機会が少なく、一般区民は地域に出る機会が少なすぎると感じています。住みよい町は「明るい元気な豊かな町、みんなが希望の持てる町」であり、これには「地域のコミュニティシステム」作りが必要であると考えます。 例えば麻生区の65歳以上高齢者は3万人(約5人に1人)を超えますが、高齢者が活動や趣味を広げる場や機会が少なく「長生きしてよかった」と言えるような地域になっているか疑問を感じます。一方でこのような高齢者の今後の健康維持も大きな課題となってきます 人は人との関わりや繋がりでも幸せや生甲斐を得るものであり、家から外に出て周りの人達と接することで、別の生きる力を持つことが出来ます。例をあげれば、学童のお世話、買い物不自由・難民への支援、家事手伝い(簡単な保全修理・庭手入れ等)等を、自由時間豊富なOB OGや高齢者が中心となって活動し、それぞれのOB OGや高齢者が地域と何らかのかかわりを持って、生活に励みを持ち健康維持に役立ててもらおう。このようにして「地域で助け支えあえるコミュニティシステム」を作り、OB OGや高齢者にそれぞれの居場所を提供して、仕事や家事等に励む人達にも安心して暮らせるような町にしたいと思います。
東川委員	○	○			○ 交通問題	公共交通と地域内交通のあり方： ① 地域の活性化或いは住みやすいまちの条件として地域内外のアクセスが重要な課題である。麻生区民にとって地下鉄導入の再検討、並びに交通不便地区の解消、CO2の削減問題或いは高齢化に伴う移動手段等の観点から自家用車からコミュニティバス方式などへの移行検討。 ② 新百合ヶ丘駅北口周辺の再整備化―車と歩行者の分離(立体方式)、駐車場の立体化、世田谷街道のflyover(立体交差)、バリアフリーの促進など。 麻生区の緑地、公園の再整備と維持管理制度の確立： 緑の保全、創出、育成の再検討と緑地、公園の維持管理のあり方、評価制度の導入、現在開発中の古沢地区の緑の保全、隣接都市との連携した行動計画の推進など。

氏名	取り上げるべきだと思う分野					取り組みたい課題
	環境・美化	文化・芸術	福祉	地域の繋がり	その他	
福田委員	○		○	○		・ 川崎市で数少なくなった、農地を含む自然環境の保全活動に麻生区の市民・団体・施設を含めた地域全体が、どのように関わっていくのかのみちすじづくり。 ・ 第一期、第二期の委員さんが取りまとめた内容をもう一度精査する機会も与えていただければ、と思います。良いものは継続し、よりよく変えていければと考えております。 ・ 福祉施設の地域での役割と連携のみちすじづくり。
柳島委員			○	○		麻生区交通空白地域、交通不便地域へのコミュニティ交通（バス通行等）について。
山崎委員	○		○			緑と農を考えていきたい。 地域の子育てと遊び場を考える（調整池の利用）

注意）

- ・ 「取り上げるべきだと思う分野」は、区民会議として取り上げるべき課題分野を「環境・美化」、「文化・芸術」、「福祉」、「地域の繋がり」、「その他」の中から各委員が選択したもの
- ・ 取り組みたい課題は、各委員が考える個別課題について記載（必ずしも、「取り上げるべきと思う分野」と「取り組みたい課題」が一致していない場合があります。）